

平成30年度 学校評価アンケート結果

本年度の学校評価アンケートをとりまとめました。本評価は、保護者・児童・教職員アンケートからの意見をまとめたものです。アンケートの結果を受け、本校の教育を改善してさらによりよい学校になるよう努めます。

1 保護者アンケート

回答者：554名 対象者：582名 回答率：95.2%

No.	評価項目	平均値 4点満点
1	教育方針説明	3.18
2	ホームページの充実	2.94
3	ルールやマナーの指導	3.19
4	学習にふさわしい学校環境	3.35
5	子供の努力を公平に評価	3.28
6	保護者相談への対応	3.26
7	子供の安全対策	3.33
8	子供は学校に行くのが楽しみ	3.45
9	授業が分かりやすい	3.14
10	子供は遊びや運動をしている	3.29

No.	評価項目	平均値 4点満点
11	子供の言葉遣い	2.69
12	困っている友達を助けている	3.23
13	家庭で勉強している	3.20
14	子供は挨拶ができる	3.07
15	子供は地域行事に参加している	2.88
16	子供は家の手伝いをしている	2.92
17	学校からの文書は読んでいる	3.53
18	担任や学校に相談している	3.13
19	学校行事に参加している	3.55
20	保護者は地域行事に参加している	2.84

上記の結果から、一般的に学校の取組に対して保護者の皆様にご理解いただき、支えていただいで実践できていると思います。

○ 昨年度よりも少し評価が上がった項目について

2 学校は学校の様子をホームページ等でわかりやすく伝えている。

今年度は、HPの「お知らせ」の欄を活用し、スクールメールや手紙等の連絡を掲載するようにしました。また、要望が多かったので、修学旅行や林間学校の様子をその当日、可能な範囲で紹介しました。

全体の中で比較すると、評価は低い方なので、学校の情報発信として、更に活用できるように工夫していきます。今月の子供達の活動も、学年に偏りがないように掲載していくことや行事や部活動の様子だけではなく、どのような内容を掲載するかということも検討していきたいと思います。

4 学校は子供達の学習にふさわしい学習環境を整えている。

一人ひとりとの関わりを大切に、充実した学びと学級づくりができるようにしていきます。学校が家庭・地域との連携を深めご協力を頂きながら、更により良い学習環境を目指していきます。

また、昨年と今年と工事が続きましたが、子供達・保護者の皆様のご協力のおかげで無事に終了しました。普通教室にエアコンが設置され、体育倉庫・農具庫・灯油庫・理科室・図書室・3年普通教室（4教室）・3年1組前水飲み場・6年生昇降口・トイレ・（子供ルーム）と、以前よりもきれいで使いやすくなっています。

体育・理科と図書の備品・消耗品を優先的に購入し、充実した学びができるようにしました。また、今年度はパソコンのリプレースがあり、2月6日よりパソコン室のパソコンや教室のプロジェクターや実物投影機等のICT機器が全て新しくなり、タブレットとして使用できるパソコンやipad等も授業で活用できるようになりました。今後、研修を重ね効果的な活用を考えていきます。

● 昨年度よりも評価が下がった項目について

9 子供は授業がわかりやすいと言っている。

評価が下がってきていることを真摯に受け止めていきたいと思っています。

業務改善をはかり、勤務時間の中で教材研究の時間が取れるように検討していきます。授業の準備をしっかりと行い、わかりやすい授業を目指します。新学習指導要領の移行期間となるので、学年で共通理解をはかり、学級差が出ないようにしたいと思います。

▽平均値が低い以下の項目は、なかなか改善できていない状況です。引き続き意識啓発に努めていきたいと考えています。

11 子供はきれいな言葉遣いをしている

15 子供は町会、地域施設、わくわく会等の行事に参加している

16 子供は家の手伝いをしている

20 保護者は町会、地域施設、わくわく会等の行事に参加している

2 児童アンケート 回答者：574名 対象者：582名 回答率：98.6%

No.	評価項目	平均値 4点満点	No.	評価項目	平均値 4点満点
1	学校に行くのを楽しみにしている	3.18	6	きれいな言葉遣いをしている	2.92
2	授業は分かりやすい	3.30	7	困っている友達を助けている	3.13
3	家で毎日勉強している	3.30	8	きまりを守っている	3.35
4	外で遊んだり勉強したりしている	3.28	9	挨拶をしている	3.46
5	係の仕事をきちんとやっている	3.54	10	地域の行事に参加している	3.02

上記の結果から児童はおおむね学校生活に満足していることがわかります。ほぼ昨年と同様の結果となりました。言葉遣いは保護者・児童・教職員ともに課題と考えています。

3 教職員アンケート 回答者：30名 対象者：30名 回答率：100%

No.	評価項目	平均値 4点満点
1	教育方針説明	3.13
2	ホームページの充実	3.20
3	ルールやマナーの指導	3.07
4	学習にふさわしい学校環境	3.03
5	子供の努力を公平に評価	3.27
6	保護者相談への対応	3.43
7	子供の安全対策	3.13
8	子供は学校に行くのが楽しみ	3.07
9	授業が分かりやすい	2.86
10	子供は遊びや運動をしている	2.93

No.	評価項目	平均値 4点満点
11	子供の言葉遣い	2.43
12	困っている友達を助けている	2.90
13	家庭で勉強している	3.03
14	子供は挨拶ができる	2.33
15	子供は地域行事に参加している	2.53
16	子供は家の手伝いをしている	2.60
17	保護者は学校からの文書を読んでいる	2.97
18	保護者は担任や学校に相談している	3.03
19	保護者は学校行事に参加している	3.23
20	保護者は地域行事に参加している	2.40

上記の結果から教職員も保護者と同じような認識を持っていることがわかります。平均値が全体的に低く、課題だと感じている所が多くあります。来年度の指導に生かしていきます。

4 自由記述のご意見

学校に対してたくさんの声をいただきました。ここでは寄せられた声の中から抜粋して掲載いたします。それ以外の声についても、校内課題検討委員会を経て、来年度に向けて検討・計画・実行いたします。

●登下校で会う子供たちに挨拶をしても（顔見知りの児童でも）挨拶がかえってこない。

挨拶は家庭・学校両方で指導する必要がある。

挨拶ができない児童が多い。

- 引き続き先生方の生徒指導部を中心に、児童は児童会・生活委員会を核としてアロハ運動を行ってまいります。ご家庭でも、声かけをお願いします。

●部活動の終了時刻が守られていない。

- 運動部・吹奏楽部と一緒に帰れるように、気を付けていきます。校門を出る時刻を完全下校の時刻とします。完全下校時刻を意識して、終了の時刻を決めて行うようにします。

●担任により、宿題の量・内容等の差がある。

クラスによって授業の進捗がちがう。ある程度統一してもらいたい。

楽しい授業をやってもらいたい。

自分の考えを伝える力をつけるような授業をしてほしい。

学力のみを伸ばす教育でなく、生きる力や地域に興味を持つような授業をしてほしい。

学力の低い児童へのフォローをもっとしてほしい。

- 学年主任を中心に、週2回の学年会をきちんと取り、授業の進め方・課題の取り組み方・評価等について、共通理解を図るようにしています。宿題やミニテスト等、学年会で話題にし、どのクラスも同じように取り組めるようにします。

新学習指導要領の移行期間になりますので、保護者の皆様にも情報提供しながら、教職員もしっかり学び実践します。

- クラスの課題はその都度丁寧に対応し、その都度解決してほしい。
 - クラスの中での課題について学年で相談したり、管理職に報告したりするように指導し、対応しています。担任だけに任せることがないように、学校としても取り組んでいきます。
- 通学路の保全について 横断歩道の白い線が消えているのでなんとかならないか。
 - 児童生徒課に依頼済みです。再度急いで対応いただけるようお願いしました。
- 音楽発表会の時に後ろの立ち見席で演奏中も話をしている保護者がいた。
 - 運動会の時に、友達の家族の分も含め3家族分のシートを敷いている人がいた。
 - 市内音楽発表会で演奏を録音している保護者がいた。
 - 保護者の方のモラルの問題ではありますが、学校としても手紙等で呼びかけていくようにします。
- 昇降口・校門がいつも開いたままになっている。不審者対策をきちんとやってほしい。
 - 朝、登校したら8時15分には、閉めるようにしていますが、その後、児童が出入りする時に開けっ放しになっています。打合せや生徒指導部会でも先生方に児童への意識付けを呼び掛けています。今後も防犯意識を高めていきたいと思えます。昨年度から、防犯カメラを設置しました。正門・児童の昇降口の校門、体育館入り口の3か所です。職員室からモニターで確認することができます。
- 個人面談が2学期もしくは3学期にあるとよい。
- 連絡網はなくせないか。（個人情報なのでなくてもよいのではないか）
- 家庭訪問は希望制にできないか。（先生方や保護者の負担が大きい）
- 言葉遣いが乱暴になっているのが気になる。
- 英語の授業をもっと取り入れてほしい。

5 アンケート結果について （3月1日の学校評議員会議で委員の皆様よりご意見を伺いました。）

- ・保護者は学校に対する関心がとても高い。学習に対する期待も大きい。恵まれた地域にある学校だと感じる。
- ・保護者の価値観が多様化しているので、驚いた。
- ・アンケートの結果から保護者の目が厳しいと感じる。地道な取り組みを続けていくしかない。すぐに結果が出ないこともある。
- ・教師一人一人が学校評価を自分事として捉え、自分自身の取り組みを見つめ改善していく姿勢が大切である。教師の児童への関わりを大切に。学校が楽しいと児童が感じていると、保護者も安心し、先生も信頼される。
- ・保護者に対する意識啓発を学校日より等で継続していく必要がある。「早寝・早起き・朝ごはん・お手伝い」の働きかけを繰り返していく。
- ・家庭を取り巻く環境は厳しくなっている。様々なニュースを聞くと、心配な家庭については丁寧にまた迅速に対応する必要があるのではないか。
- ・アンケート結果は、3年位の経年変化を見ていく必要があるのではないか。学校 HP には掲載されているようだが、資料としてわかるようにした方がよいのではないか。
- ・保護者・児童のアンケート結果と先生方のアンケート結果を比べると、先生方が自分に厳しいと感じる。児童の自己肯定感を高めてほしい先生方の自己肯定感が低くなってしまっている。先生方が元気になってほしい。
- ・学校が家庭に入っていくことは難しくなっている。コミュニティスクールのように、地域の方に学校にどんどん入ってもらって、地域の人から発信する方法もある。時間も能力もある素晴らしい人材が地域にいらっしゃる。そのような人材を集めていくことも大切ではないか。

※コミュニティスクール

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。（文部科学省 HP より）

- ・交通安全隊の方々に見守っていただけて有り難い。
- ・学校の良い情報をもっとどんどん発信するべきではないか。
- ・学校・家庭・地域のコミュニケーションを大切に。

頂いたご意見を踏まえ、来年度の取り組みを考え、児童のために努力してまいります。今年度のご協力に心から感謝しています。今後どうぞよろしくお願いいたします。